



広報資料

2008年10月16日
環境省生物多様性センター

速報！「いきものみつけ」夏の実施結果について

～いきものしらべ(セミ3種)と温暖化意識しらべ、夏バージョンを発表～

環境省生物多様性センター(所在地:山梨県富士吉田市、センター長:鳥居敏男)は、市民参加の温暖化影響しらべ(愛称「いきものみつけ」)を本年7月から実施。夏の調査対象であるセミ3種の確認情報、温暖化に関するコメント等を広く一般から収集してきました。このたび夏の実施結果(速報)を取りまとめましたので、お知らせします。のべ報告件数10,199件(10月14日現在)、うち「いきものしらべ」は8,233件、「温暖化意識しらべ」は1,966件でした。「いきものしらべ」における結果の速報は都道府県別に集計を行い、初鳴き日と分布について注目、平成7年の「身近な生きもの調査」の結果と比較を行いました。この調査結果は、「いきものみつけ」オフィシャルサイト www.mikke.go.jpにて今後視覚化する予定です。また、「温暖化意識しらべ」については、皆さんから自由投稿で寄せられたコメントのうち、同様の意見が多かったものや興味深いものについてまとめています。詳しい調査結果は環境省ホームページにてご覧いただけますのでご参照ください。
<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=10292>

◆夏調査の概要について

「いきものみつけ」では、季節ごとに3種類の生き物や自然現象を対象にその確認日を調べる「いきものしらべ」と、身近なところで何に温暖化を感じているかをアンケート形式で調べる「温暖化意識しらべ」の2項目について、広く一般の方々から情報を寄せていただいています。夏の「いきものしらべ」では、ミンミンゼミ、ツクツクボウシ及びクマゼミの鳴き声を聞いた日の情報を収集しました。

◆取材・企画に関するお問い合わせ先

〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾 5597-1 環境省生物多様性センター
TEL:0555-72-6033 FAX:0555-72-6035